

スターチス・シヌアータの早出し作型
— 播種期，マルチの種類 —

南部分場

1、背景とねらい

南部沿岸，東磐井地域におけるスターチス・シヌアータは有望品目として近年，作付が増加している。

今後，一層の収益向上，生産拡大を図るため，冬春期温暖気象を活用した早出し作型の安定化技術が課題となっている。

そこで，早出し作型の播種期，マルチの種類について検討したところ，成果が得られたので指導上の参考に供する。

2、技術の内容

1) 播種期

(1) 低温障害を軽減し早期収量，総収量の安定している播種期は，10月上～中旬である。

その場合，収穫は5月上旬に開始となり，7月下旬で株当たり25本以上の収穫は可能である。

2) マルチの種類

(1) 早出し作型におけるマルチの種類は，早期収量の高い透明マルチが適する。

3) 適応地域及び適応作型

中南部沿岸，両盤地域，施設無加温栽培

3、指導上の留意事項

1) 育苗は無加温ハウス育苗とし，育苗期間は3号ポット利用で50日程度とする

2) 保温は外部ビニール+内張りカーテン+トンネル（ビニール+シルバー）の4重被覆とする。特に抽台以後の幼穂は低温に弱いため最低温度0℃以上を確保する。トンネル被覆中に抽台茎は30～40cmとなるため，大きめのトンネルとする。被覆方法は図-2を参考にする。

3) 透明ポリマルチは，葉が地面を覆ったら除去する。

4) その他の一般的留意事項は栽培指針に準ずる。

4、当該事項にかかる研究課題名

スターチス・シヌアータの早出し作型

5、参考文献，資料

昭和63年 指導上の参考事項 スターチス・シヌアータ早出し用(5～7月)
品種の特性 岩手園試南部分場

6、試験成績の概要

1) 播種期試験

表1 生育, 収量調査 (株当たり)

年次	播種期 (月日)	抽台 始め (月日)	収穫 始め (月日)	草丈 (cm)	切花 重 (g)	株当り 収穫本数 (本)	灰色か び病 (本)	低温 障害 (本)	a 当り 収穫本数 (本)
62年度	10/10	2/ 6	5/16	60.4	29.6	21.9	17.5	5.6	11,679
63年度	9/ 9	12/17	5/10	64.3	47.9	25.4	4.9	1.8	13,546
	9/26	1/ 6	5/10	66.8	41.3	25.1	7.0	1.9	13,386
	10/11	2/ 1	4/28	61.7	34.1	28.1	6.4	0.4	14,986
	10/26	2/20	5/10	61.7	36.5	27.8	7.0	0.5	14,826
	11/14	3/11	5/10	60.3	37.0	21.1	5.6	0.1	11,253
元年度	9/25	1/10	5/ 7	73.3	39.9	28.9	11.9	0.6	10,705
	10/ 5	1/20	5/ 7	72.3	45.1	25.8	4.5	0.2	9,556
	10/15	2/20	5/ 7	71.2	41.8	26.0	9.6	0.1	9,630
	10/25	3/ 1	5/ 7	72.9	39.3	24.6	7.0	0	9,112

2) マルチの種類

表2 収量調査 (株当たり)

(昭和63年度)

区	抽台 始め (月日)	収穫 始め (月日)	草丈 (cm)	切花 重 (g)	株当り収穫本数(本)		a 当り 収穫本数 (本)
					早期収量 (5月末)	全期間収量	
透明マルチ (標)	2/1	4/28	61.7	34.1	8.1	28.1	12,488
グリーンマルチ	2/1	4/28	59.7	28.2	5.7	31.6	14,043
黒マルチ	2/1	5/10	61.8	33.7	4.0	24.8	11,021
黒マルチ・無除去区	2/1	5/10	63.0	34.1	2.8	25.9	11,510
露地	2/1	5/10	60.7	33.7	5.1	26.6	11,821